

小地域懇談会を振り返って

今年度も1,000人を超える参加者の皆さんにお世話になり、10月中旬から12月中旬まで「これって平等？ 公正？」をテーマに、小地域懇談会を行いました。

区長さんや自治会長さん、社会教育推進員の皆さんには、大変ご尽力をいただき、ありがとうございました。

次に、参加者の方からいただいたアンケートの結果について概要を報告します（12月17日までの集計です）。

参加者について

男女比を見ると「男性63%、女性32%（未記入5%）」という結果でした。昨年と同様、男女共同参画の取り組みが進むなかで、女性の方の参加が望まれます。

年代別では「60代40%」「50代23%」「70代16%」で、今年も50代と70代が参加者のおよそ8割を占めています。高齢化が進む中ですが、若い人の参加があれば、話し合いもさらに深まるのではないのでしょうか。

参加回数について

「初めて～5回」までが51%、「6回～10回以上」が48%という結果でした。集落によっては、参加者の固定化が見られるようですが、全体的に見ると、新しい方の参加も多くあることがわかります。

話し合いの内容について

「とてもよかった28%」「よかった63%」「あまりよくなかった5%」「よくなかった1%」という結果でした。特に昨年に比べて、「とてもよかった」と回答された方が8ポイント増えています。また、参加者の皆さんの91%の方から肯定的な評価をいただきました。

話し合いへの参加について

89%の方に肯定的な評価をいただきました。あまり参加できなかった、参加できなかったと回答された方は8%でした。参加型の学習のよさについて理解していただいている結果だと思います。

感想から

今年も参加者のみなさんから、たくさん感想をいただきました。その中で小地域懇談会に取り組み上で、とても参考になる感想がありましたので紹介します。

平等・公正…なかなか難しい。言葉で考えても…、ただ60歳近くになると、自分の考え方が決まってきたてなかなか「直しにくい」。そこで人間は、こういう機会を「おっくうがらずに」出て「軌道修正」するのが良いと改めて思った。

来年度も充実した小地域懇談会にしていきたいと思います。

なお、アンケートの詳しい内容、分析は、大山町人権・同和教育推進協議会の広報誌「ぬくもり」22号でお知らせする予定です。

お詫び

広報だいせん1月号きょういく通信で掲載したスポーツ大会の結果に誤りがありました。出場された選手の皆様、関係団体の皆様にはご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

町民ソフトバレーボール大会

【正】

優勝 莊田
準優勝 片木アルミ
3位 長野

町民バドミントン大会

【正】

(1部) 優勝 エビまつり	(4部) 優勝 赤松C	(7部) 優勝 赤松D
準優勝 赤松A	準優勝 ナスパルA	準優勝 モンキーパンチ
(2部) 優勝 ねこパンチ	(5部) 優勝 南御崎	(8部) 優勝 チームこうとく
準優勝 國信A	準優勝 坊領B	準優勝 赤松E
(3部) 優勝 いぬパンチ	(6部) 優勝 ナスパルC	
準優勝 エビザイル	準優勝 社教B	